

ファイザーヘルスリサーチ振興財団
第24回(2015年度)
国内共同研究(満39歳以下)助成

募集要項

【助成対象研究について】

1. 国内におけるヘルスリサーチ領域の問題解決型の共同研究であること。下記の6つの重点分野以外でも、保健・医療の受け手の観点から最適な保健医療・福祉のシステムに資する研究であれば対象とする。*「ヘルスリサーチ研究領域と例示」を参照のこと。
 - ① 制度・政策に関する研究
 - ② 医療経済に関する研究
 - ③ 保健医療の評価に関する研究
 - ④ 保健医療サービスに関する研究
 - ⑤ 保健医療資源の開発に関する研究
 - ⑥ 医療哲学に関する研究
2. 厚生労働科学研究費補助金が交付されている同一内容の研究課題に対しては、研究助成の対象としない。
3. 生物医学的研究は、助成対象としない。

【応募要件】

1. 応募研究について
 - 共同研究者を1名以上定め、その同意書を取得すること。
 - 応募者の所属長などの推薦者より、応募研究についての推薦書を取得すること。
2. 応募者について
 - 保健・医療・福祉及びその関連領域において研究を志向する国内在住者。
 - 2015年4月1日現在における年齢が満39歳以下であること。
 - 過去に本財団のヘルスリサーチ研究助成を受賞したことのある場合は、いずれの категорияへの応募についても、受賞年より3年以上経過していること。
3. 共同研究について

同一教室内など、応募者と同一の所属部・科の研究者のみで構成される共同研究は、これを対象としない。
4. 推薦者について
 - 推薦者は、原則として、応募者の所属する国内研究機関・教室等の所属長とする。
 - 原則として、共同研究者の所属する所属機関・教室等の所属長を推薦者としなないこと。
 - 共同研究者を推薦者としなないこと。
 - ファイザーヘルスリサーチ振興財団の理事・監事・評議員・選考委員を推薦者としなないこと。

【助成の内容について】

1. 助成額

1件 上限 100 万円。(本年度は、総額 1,300 万円、13 件程度の助成を行う予定)

2. 助成期間

原則として、2015 年 12 月 1 日から 2016 年 11 月 30 日までの1年間に実施される研究を対象とする。

3. 研究助成金の支払い

助成金は、2015 年 12 月中に支払い手続きを実施する。

4. 研究助成金の使途等

応募書に、助成金使途を費目別に金額も含め明記すること。

但し、次のような支出は対象としない。

- 応募者および共同研究者の所属する組織の間接経費および一般管理費
- 応募者本人および共同研究者への謝金(原稿料・翻訳料・通訳料など)
- 応募者本人および共同研究者の授業料(大学院など)
- 応募者本人および共同研究者の所属機関への通勤・通学交通費
- 総額 30 万円を超える機材・備品費(PC, プリンターなど)
- 助成金の 60%を超える旅費
- 学会年会費
- 海外学会参加費用(旅費、宿泊費、学会登録費など)

【応募について】

1. 公募

財団ホームページ、医療経済研究機構レター(Monthly IHEP)、大学、研究機関、学会、都道府県医師会/歯科医師会/薬剤師会/看護協会、都道府県・政令指定都市保健所長会等を通じて案内

2. 応募期間

2015 年 4 月 1 日(水)～2015 年 6 月 30 日(火)《当日消印有効》

3. 応募用紙などの入手方法

公益財団法人ファイザーヘルスリサーチ振興財団の下記のウェブサイトからダウンロードしてご利用下さい。

<http://www.health-research.or.jp/>

4. 応募方法

所定の応募書に、必要事項を記入し、**2015 年 6 月 30 日(火)《当日消印有効》**までに、下記、事務局あてに、配達記録が残る郵便または宅配便にてお送り下さい。

☆ ファクシミリ、電子メール、メール便(配達記録のないもの)、ご来社によるご応募はお受けしておりません。

- ◇ 応募書及び添付書類に不備のあるものは受付致しません。
- ◇ 応募書および添付書類は、採否に関わらずお返し致しません。

【選考について】

1. 選考の方法

選考委員会において助成対象の選考ならびに助成金額の決定を行い、理事長に答申する。なお、選考にあたり、必要に応じて応募者の面接を行う。

2. 選考基準

- ◇ 応募する研究が、ヘルスリサーチの趣旨を踏まえたものであるか。
- ◇ 応募する研究が、「応募要件」を満たしているか。
- ◇ 応募する研究が、「助成対象研究について」の内容に適しているか。
- ◇ 応募する研究が、下記の点で高く評価されるか。
 - ① 研究テーマの重要性(時代の要請)
 - ② 研究テーマの独創性
 - ③ 研究テーマの将来性(萌芽的研究)
 - ④ 研究方法の妥当性
 - ⑤ 研究実施計画の内容(企図、実施可能性、期間、助成金使途などは適切か)
 - ⑥ 共同研究者の適切性

【選考の結果について】

採否の結果は、10月下旬までに、応募者宛(採択された場合は推薦者にも)に通知する。

【助成金の受領にあたって】

- 本応募研究の実施・成果発表に際しては、次に掲げるものをはじめとする各種関連法規・ガイドラインを遵守すること。
 - ◇ 「個人情報保護法」(平成 15 年 5 月 30 日 法律第 57 号)
 - ◇ 「疫学研究に関する倫理指針(平成 14 年文部科学省・厚生労働省告示第 2 号)」
- 研究助成受賞者は、2015 年 11 月 28 日(土) 開催の贈呈式に出席のこと。(東京都千代田区紀尾井町 千代田放送会館にて開催予定)
- 研究助成受賞者は、研究助成金を、本応募に基づく研究内容を実施する目的で使用すること。不適切な利益供与やファイザーに対して好意的な判断をする目的で使用してはならない。その全部または一部を第三者に譲渡・貸与する目的で使用しないこと。
- 研究助成受賞者は、研究期間終了後、2 カ月以内に「助成金による研究成果報告作成要領」および「助成金による研究等にかかわる経費支出報告作成要領」に基づき、助成研究の「成果報告書」ならびに助成金に関する「経費支出報告書」を提出すること。なお、経費支出報告書には、原則として全支出の領収書(コピー可)を添付すること。
- 助成金支出に際しては、助成決定後の費目変更は、原則認めない。やむをえず変更する場合は、事前に財団理事長の承認を得ること。
- その他、助成決定後、助成期間中に応募書類の内容を変更する場合には、事前に財団理事長の承認を得ること。

【研究成果の公表について】

- 研究助成受賞者は、本財団が主催する 2017 年度の「ヘルスリサーチフォーラム」にて、助成研究の成果発表を行うこと。
- 研究成果は学術誌・学会誌等の専門誌に投稿することとする。投稿に当たっては、公益財団法人ファイザーヘルスリサーチ振興財団(英文の場合は Pfizer Health Research Foundation)の助成を受けている旨の注記を論文に記載するものとし、発表論文の抄録ができ次第提出する。

【個人情報を含む受領した情報の取り扱いについて】

- 応募書に記入された個人情報の利用は、公益財団法人ファイザーヘルスリサーチ振興財団のプライバシー・ポリシーの利用目的の範囲内で行うものとする。
- 本財団は、助成した研究成果を財団機関誌・財団ホームページ等に掲載発表致します。また、多くのヘルスリサーチ研究者が情報検索サービスを利用できるよう、助成した研究成果の概要を国立情報学研究所の「民間助成研究成果概要データベース」に登録する。

【応募書類送付先・問い合わせ先】

〒151-8589 東京都渋谷区代々木3丁目22番7号
公益財団法人ファイザーヘルスリサーチ振興財団
(電話)03-5309-6712 (FAX)03-5309-9882
URL :<http://www.health-research.or.jp/>
E-mail : hr.zaidan@health-research.or.jp

以上

ヘルスリサーチ研究領域と例示

「ヘルスリサーチ」とは、一人ひとりのクオリティ・オブ・ライフ(QOL)の向上を目的として、自然科学(医学、薬学、健康科学等)や社会科学(法学、経済学、社会学等)の成果を基に、変化する社会の中で、全ての人々が最適なケアを享受できるための仕組みを研究し、社会に提言する問題解決型の学問です。その研究の方法は、医療の受け手の観点から、医療を構成する要素を統合し、これらの一連の関連要素を効率的・効果的な社会システムとして方向づけすることです。本財団は国際的視点からのヘルスリサーチの研究に対し助成致します。

ヘルスリサーチの研究分野と研究テーマ例

1. 制度・政策
 - 医療・介護サービスの質の確保に関する制度の研究
 - 社会保障制度・政策の研究
 - 薬価・薬事制度の研究
 - 人口減少社会における医療福祉の研究、など
2. 医療経済
 - Pharmaco Economicsの研究
 - 医療における費用対効果の研究
 - 医療における技術革新の経済評価の研究
 - 医療経営に関する研究、など
3. 保健医療の評価
 - 医療の質とEBMの適用の研究
 - 文化・制度の違いによる疾患治療の相違の国際比較研究
 - 保健医療のOutcomeの研究
 - 医療福祉経営における品質管理手法の研究、など
4. 保健医療サービス
 - 患者・家族・支援者の精神的ケアの研究
 - 保健医療サービスにおけるヘルスプロモーション等の研究
 - 在宅医療を含む医療施設の機能評価の研究
 - 情報化社会の保健医療に及ぼす影響の研究
 - 患者の受診行動とヘルスコミュニケーションの研究
 - 保健医療における危機管理の研究
 - 災害時における危機管理と被災者および医療者の精神的ケアの研究
 - 国際協力に関する研究、など
5. 保健医療資源の開発
 - 医学教育を含むヘルスマンパワーの研究
 - イノベーションに関する諸問題の研究
 - 新薬開発のグローバル化と薬事政策に関する国際比較研究
 - 医療と知的財産権に関する研究、など
6. 医療哲学
 - 地球環境に関連したヘルスリサーチ
 - 尊厳死・死生観に関する諸問題の研究
 - 医療倫理・生命倫理に関する研究、など

以上

ファイザーヘルスリサーチ振興財団
第24回(2015年度)
国内共同研究(年齢制限なし)助成

募集要項

【助成対象研究について】

1. 国内におけるヘルスリサーチ領域の問題解決型の共同研究であること。下記の6つの重点分野以外でも、保健・医療の受け手の観点から最適な保健医療・福祉のシステムに資する研究であれば対象とする。*「ヘルスリサーチ研究領域と例示」を参照のこと。
 - ① 制度・政策に関する研究
 - ② 医療経済に関する研究
 - ③ 保健医療の評価に関する研究
 - ④ 保健医療サービスに関する研究
 - ⑤ 保健医療資源の開発に関する研究
 - ⑥ 医療哲学に関する研究
2. 厚生労働科学研究費補助金が交付されている同一内容の研究課題に対しては、研究助成の対象としない。
3. 生物医学的研究は、助成対象としない。

【応募要件】

1. 応募研究について
 - 共同研究者を1名以上定め、その同意書を取得すること。
 - 応募者の所属長などの推薦者より、応募研究についての推薦書を取得すること。
2. 応募者について
 - 保健・医療・福祉及びその関連領域において研究を志向する国内在住者とする。
 - 過去に本財団のヘルスリサーチ研究助成を受賞したことのある場合は、いずれの категорияへの応募についても、受賞年より3年以上経過していること。
3. 共同研究について

同一教室内など、応募者と同一の所属部・科の研究者のみで構成される共同研究は、これを対象としない。
4. 推薦者について
 - 推薦者は、原則として、応募者の所属する国内研究機関・教室等の所属長とする。
 - 原則として、共同研究者の所属する国内研究機関・教室等の所属長を推薦者としなないこと。
 - 共同研究者を推薦者としなないこと。
 - ファイザーヘルスリサーチ振興財団の理事・監事・評議員・選考委員を推薦者としなないこと。

【助成の内容について】

1. 助成金

1件 上限 130 万円。(本年度は、総額 1,300 万円、10 件程度の助成を行う予定)

2. 助成期間

原則として、2015 年 12 月 1 日から 2016 年 11 月 30 日までの1年間に実施される研究を対象とする。

3. 研究助成金の支払い

助成金は、2015 年 12 月中に支払い手続きを実施する。

4. 研究助成金の使途等

応募書に、助成金使途を費目別に金額も含め明記すること。

但し、次のような支出は対象としない。

- 応募者および共同研究者の所属する組織の間接経費および一般管理費
- 応募者本人および共同研究者への謝金(原稿料・翻訳料・通訳料など)
- 応募者本人および共同研究者の授業料(大学院など)
- 応募者本人および共同研究者の所属機関への通勤・通学交通費
- 総額 30 万円を超える機材・備品費(PC, プリンターなど)
- 助成金の 60%を超える旅費
- 学会年会費
- 海外学会参加費用(旅費、宿泊費、学会登録費など)

【応募について】

1. 公募

財団ホームページ、医療経済研究機構レター(Monthly IHEP)、大学、研究機関、学会、都道府県医師会/歯科医師会/薬剤師会/看護協会、都道府県・政令指定都市保健所長会等を通じて案内

2. 応募期間

2015 年 4 月 1 日(火)～2015 年 6 月 30 日(火)《当日消印有効》

3. 応募用紙などの入手方法

公益財団法人ファイザーヘルスリサーチ振興財団の下記のウェブサイトからダウンロードしてご利用下さい。

<http://www.health-research.or.jp/>

4. 応募方法

所定の応募書に、必要事項を記入し、**2015 年 6 月 30 日(火)《当日消印有効》までに**、下記、事務局あてに、配達記録が残る郵便または宅配便にてお送り下さい。

◇ ファクシミリ、電子メール、メール便(配達記録のないもの)、ご来社によるご応募はお受けしておりません。

- ◇ 応募書及び添付書類に不備のあるものは受付致しません。
- ◇ 応募書および添付書類は、採否に関わらずお返し致しません。

【選考について】

1. 選考の方法

選考委員会において助成対象の選考ならびに助成金額の決定を行い、理事長に答申する。なお、選考にあたり、必要に応じて応募者の面接を行う。

2. 選考基準

- ◇ 応募する研究が、ヘルスリサーチの趣旨を踏まえたものであるか。
- ◇ 応募する研究が、「応募要件」を満たしているか。
- ◇ 応募する研究が、「助成対象研究について」の内容に適しているか。
- ◇ 応募する研究が、下記の点で高く評価されるか。
 - ① 研究テーマの重要性(時代の要請)
 - ② 研究テーマの独創性
 - ③ 研究テーマの将来性(萌芽的研究)
 - ④ 研究方法の妥当性
 - ⑤ 研究実施計画の内容(企図、実施可能性、期間、助成金使途などは適切か)
 - ⑥ 共同研究者の適切性

【選考の結果について】

採否の結果は、10月下旬までに、応募者宛(採択された場合は推薦者にも)に通知する。

【助成金の受領にあたって】

- 本応募研究の実施・成果発表に際しては、次に掲げるものをはじめとする各種関連法規・ガイドラインを遵守すること。
 - ◇ 「個人情報保護法」(平成15年5月30日 法律第57号)
 - ◇ 「疫学研究に関する倫理指針(平成14年文部科学省・厚生労働省告示第2号)」
- 研究助成受賞者は、2015年11月28日(土)開催の贈呈式に出席のこと。(東京都千代田区紀尾井町 千代田放送会館にて開催予定)
- 研究助成受賞者は、研究助成金を、本応募に基づく研究内容を実施する目的で使用すること。不適切な利益供与やファイザーに対して好意的な判断をする目的で使用してはならない。その全部または一部を第三者に譲渡・貸与する目的で使用しないこと。
- 研究助成受賞者は、研究期間終了後、2カ月以内に「助成金による研究成果報告作成要領」および「助成金による研究等にかかわる経費支出報告作成要領」に基づき、助成研究の「成果報告書」ならびに助成金に関する「経費支出報告書」を提出すること。なお、経費支出報告書には、原則として全支出の領収書(コピー可)を添付すること。
- 助成金支出に際しては、助成決定後の費目変更は、原則認めない。やむをえず変更する場合は、事前に財団理事長の承認を得ること。
- その他、助成決定後、助成期間中に応募書類の内容を変更する場合には、事前に財団理事

長の承認を得ること。

【研究成果の公表について】

- 研究助成受賞者は、本財団が主催する 2017 年度の「ヘルスリサーチフォーラム」にて、助成研究の成果発表を行うこと。
- 研究成果は学術誌・学会誌等の専門誌に投稿することとする。投稿に当たっては、公益財団法人ファイザーヘルスリサーチ振興財団(英文の場合は Pfizer Health Research Foundation)の助成を受けている旨の注記を論文に記載するものとし、発表論文の抄録ができ次第提出する。

【個人情報を含む受領した情報の取り扱いについて】

- 応募書に記入された個人情報の利用は、公益財団法人ファイザーヘルスリサーチ振興財団のプライバシー・ポリシーの利用目的の範囲内で行うものとする。
- 本財団は、助成した研究成果を財団機関誌・財団ホームページ等に掲載発表致します。また、多くのヘルスリサーチ研究者が情報検索サービスを利用できるよう、助成した研究成果の概要を国立情報学研究所の「民間助成研究成果概要データベース」に登録する。

【応募書類送付先・問い合わせ先】

〒151-8589 東京都渋谷区代々木3丁目22番7号

公益財団法人ファイザーヘルスリサーチ振興財団

(電話)03-5309-6712 (FAX)03-5309-9882

URL : <http://www.health-research.or.jp/>

E-mail: hr.zaidan@health-research.or.jp

以上

ヘルスリサーチ研究領域と例示

「ヘルスリサーチ」とは、一人ひとりのクオリティ・オブ・ライフ(QOL)の向上を目的として、自然科学(医学、薬学、健康科学等)や社会科学(法学、経済学、社会学等)の成果を基に、変化する社会の中で、全ての人々が最適なケアを享受できるための仕組みを研究し、社会に提言する問題解決型の学問です。その研究の方法は、医療の受け手の観点から、医療を構成する要素を統合し、これらの一連の関連要素を効率的・効果的な社会システムとして方向づけすることです。本財団は国際的視点からのヘルスリサーチの研究に対し助成致します。

ヘルスリサーチの研究分野と研究テーマ例

1. 制度・政策
 - 医療・介護サービスの質の確保に関する制度の研究
 - 社会保障制度・政策の研究
 - 薬価・薬事制度の研究
 - 人口減少社会における医療福祉の研究、など
2. 医療経済
 - Pharmaco Economicsの研究
 - 医療における費用対効果の研究
 - 医療における技術革新の経済評価の研究
 - 医療経営に関する研究、など
3. 保健医療の評価
 - 医療の質とEBMの適用の研究
 - 文化・制度の違いによる疾患治療の相違の国際比較研究
 - 保健医療のOutcomeの研究
 - 医療福祉経営における品質管理手法の研究、など
4. 保健医療サービス
 - 患者・家族・支援者の精神的ケアの研究
 - 保健医療サービスにおけるヘルスプロモーション等の研究
 - 在宅医療を含む医療施設の機能評価の研究
 - 情報化社会の保健医療に及ぼす影響の研究
 - 患者の受診行動とヘルスコミュニケーションの研究
 - 保健医療における危機管理の研究
 - 災害時における危機管理と被災者および医療者の精神的ケアの研究
 - 国際協力に関する研究、など
5. 保健医療資源の開発
 - 医学教育を含むヘルスマンパワーの研究
 - イノベーションに関する諸問題の研究
 - 新薬開発のグローバル化と薬事政策に関する国際比較研究
 - 医療と知的財産権に関する研究、など
6. 医療哲学
 - 地球環境に関連したヘルスリサーチ
 - 尊厳死・死生観に関する諸問題の研究
 - 医療倫理・生命倫理に関する研究、など

以上

ファイザーヘルスリサーチ振興財団
第24回(2015年度)
国際共同研究助成

募集要項

【助成対象研究について】

1. 国内におけるヘルスリサーチ領域の問題解決型の共同研究であること。下記の6つの重点分野以外でも、保健・医療の受け手の観点から最適な保健医療・福祉のシステムに資する研究であれば対象とする。*「ヘルスリサーチ研究領域と例示」を参照のこと。
 - ① 制度・政策に関する研究
 - ② 医療経済に関する研究
 - ③ 保健医療の評価に関する研究
 - ④ 保健医療サービスに関する研究
 - ⑤ 保健医療資源の開発に関する研究
 - ⑥ 医療哲学に関する研究
2. 厚生労働科学研究費補助金が交付されている同一内容の研究課題に対しては、研究助成の対象としない。
3. 生物医学的研究は、助成対象としない。

【応募要件】

1. 応募研究について
 - 共同研究者を1名以上(うち、海外施設所属の共同研究者を1名以上含めること)定め、その同意書を取得すること。
 - 応募者の所属長などの推薦者より、応募研究についての推薦書を取得すること。
2. 応募者について
 - 保健・医療・福祉及びその関連領域において研究を志向する国内在住者とする。
 - 過去に本財団のヘルスリサーチ研究助成を受賞したことのある場合は、いずれのカテゴリへの応募についても、受賞年より3年以上経過していること。
3. 共同研究について

同一教室内など、応募者と同一の所属部・科の研究者のみで構成される共同研究は、これを対象としない。
4. 推薦者について
 - 推薦者は、原則として、応募者の所属する国内研究機関・教室等の所属長とする。
 - 原則として、共同研究者の所属する研究機関・教室等の所属長を推薦者としめないこと。
 - 共同研究者を推薦者としめないこと。
 - ファイザーヘルスリサーチ振興財団の理事・監事・評議員・選考委員を推薦者としめないこと。

【助成の内容について】

1. 助成額

1件 上限 300 万円。(本年度は、総額 2,400 万円、8 件程度の助成を行う予定)

2. 助成期間

原則として、2015 年 12 月 1 日から 2016 年 11 月 30 日までの1年間に実施される研究を対象とする。

3. 研究助成金の支払い

助成金は、2015 年 12 月中に支払い手続きを実施する。

4. 研究助成金の使途等

応募書に、助成金使途を費目別に金額も含め明記すること。

但し、次のような支出は対象としない。

- 応募者および共同研究者の所属する組織の間接経費および一般管理費
- 応募者本人および共同研究者への謝金(原稿料・翻訳料・通訳料など)
- 応募者本人および共同研究者の授業料(大学院など)
- 応募者本人および共同研究者の所属機関への通勤・通学交通費
- 総額 30 万円を超える機材・備品費(PC, プリンターなど)
- 助成金の 60%を超える旅費
- 学会年会費
- 海外学会参加費用(旅費、宿泊費、学会登録費など)

【応募について】

1. 公募

財団ホームページ、医療経済研究機構レター (Monthly IHEP)、大学、研究機関、学会、都道府県医師会/歯科医師会/薬剤師会/看護協会、都道府県・政令指定都市保健所長会等を通じて案内

2. 応募期間

2015 年 4 月 1 日 (水)～2015 年 6 月 30 日 (火)《当日消印有効》

3. 応募用紙などの入手方法

公益財団法人ファイザーヘルスリサーチ振興財団の下記のウェブサイトからダウンロードしてご利用下さい。

<http://www.health-research.or.jp/>

4. 応募方法

所定の応募書に、必要事項を記入し、**2015年6月30日(火)《当日消印有効》までに**、下記、事務局あてに、配達記録が残る郵便または宅配便にてお送り下さい。

- ◇ ファクシミリ、電子メール、メール便(配達記録のないもの)、ご来社によるご応募はお受けしておりません。
- ◇ 応募書および添付書類は、採否に関わらずお返し致しません。

【選考について】

1. 選考の方法

選考委員会において助成対象の選考ならびに助成金額の決定を行い、理事長に答申する。なお、選考にあたり、必要に応じて応募者の面接を行う。

2. 選考基準

- ◇ 応募する研究が、ヘルスリサーチの趣旨を踏まえたものであるか。
- ◇ 応募する研究が、「応募要件」を満たしているか。
- ◇ 応募する研究が、「助成対象研究について」の内容に適しているか。
- ◇ 応募する研究が、下記の点で高く評価されるか。
 - ① 研究テーマの重要性(時代の要請)
 - ② 研究テーマの独創性
 - ③ 研究テーマの将来性(萌芽的研究)
 - ④ 研究方法の妥当性
 - ⑤ 研究実施計画の内容(企図、実施可能性、期間、助成金使途などは適切か)
 - ⑥ 共同研究者の適切性

【選考の結果について】

採否の結果は、10月下旬までに、応募者宛(採択された場合は推薦者にも)に通知する。

【助成金の受領にあたって】

- 本応募研究の実施・成果発表に際しては、次に掲げるものをはじめとする各種関連法規・ガイドラインを遵守すること。
 - ◇ 「個人情報保護法」(平成15年5月30日 法律第57号)
 - ◇ 「疫学研究に関する倫理指針(平成14年文部科学省・厚生労働省告示第2号)」
- 研究助成受賞者は、2015年11月28日(土)開催の贈呈式に出席のこと。(東京都千代田区紀尾井町 千代田放送会館にて開催予定)
- 研究助成受賞者は、研究助成金を、本応募に基づく研究内容を実施する目的で使用すること。不適切な利益供与やファイザーに対して好意的な判断をする目的で使用してはならない。その全部または一部を第三者に譲渡・貸与する目的で使用しないこと。
- 研究助成受賞者は、研究期間終了後、2カ月以内に「助成金による研究成果報告作成要領」および「助成金による研究等にかかわる経費支出報告作成要領」に基づき、助成研究の「成果報告書」ならびに助成金に関する「経費支出報告書」を提出すること。なお、経費支出報告書には、原則として全支出の領収書(コピー可)を添付すること。
- 助成金支出に際しては、助成決定後の費目変更は、原則認めない。やむをえず変更する場合は、事前に財団理事長の承認を得ること。
- その他、助成決定後、助成期間中に応募書類の内容を変更する場合には、事前に財団理事長の承認を得ること。

【研究成果の公表について】

- 研究助成受賞者は、本財団が主催する 2017 年度の「ヘルスリサーチフォーラム」にて、助成研究の成果発表を行うこと。
- 研究成果は学術誌・学会誌等の専門誌に投稿することとする。投稿に当たっては、公益財団法人ファイザーヘルスリサーチ振興財団(英文の場合は Pfizer Health Research Foundation)の助成を受けている旨の注記を論文に記載するものとし、発表論文の抄録ができ次第提出する。

【個人情報を含む受領した情報の取り扱いについて】

- 応募書に記入された個人情報の利用は、公益財団法人ファイザーヘルスリサーチ振興財団のプライバシー・ポリシーの利用目的の範囲内で行うものとする。
- 本財団は、助成した研究成果を財団機関誌・財団ホームページ等に掲載発表する。また、多くのヘルスリサーチ研究者が情報検索サービスを利用できるよう、助成した研究成果の概要を国立情報学研究所の「民間助成研究成果概要データベース」に登録するものとする。

【応募書類送付先・問い合わせ先】

〒151-8589 東京都渋谷区代々木3丁目22番7号

公益財団法人ファイザーヘルスリサーチ振興財団

(電話)03-5309-6712 (FAX)03-5309-9882

URL :<http://www.health-research.or.jp/>

E-mail :hr.zaidan@health-research.or.jp

以上

ヘルスリサーチ研究領域と例示

「ヘルスリサーチ」とは、一人ひとりのクオリティ・オブ・ライフ(QOL)の向上を目的として、自然科学(医学、薬学、健康科学等)や社会科学(法学、経済学、社会学等)の成果を基に、変化する社会の中で、全ての人々が最適なケアを享受できるための仕組みを研究し、社会に提言する問題解決型の学問です。その研究の方法は、医療の受け手の観点から、医療を構成する要素を統合し、これらの一連の関連要素を効率的・効果的な社会システムとして方向づけすることです。本財団は国際的視点からのヘルスリサーチの研究に対し助成致します。

ヘルスリサーチの研究分野と研究テーマ例

1. 制度・政策
 - 医療・介護サービスの質の確保に関する制度の研究
 - 社会保障制度・政策の研究
 - 薬価・薬事制度の研究
 - 人口減少社会における医療福祉の研究、など
2. 医療経済
 - Pharmaco Economicsの研究
 - 医療における費用対効果の研究
 - 医療における技術革新の経済評価の研究
 - 医療経営に関する研究、など
3. 保健医療の評価
 - 医療の質とEBMの適用の研究
 - 文化・制度の違いによる疾患治療の相違の国際比較研究
 - 保健医療のOutcomeの研究
 - 医療福祉経営における品質管理手法の研究、など
4. 保健医療サービス
 - 患者・家族・支援者の精神的ケアの研究
 - 保健医療サービスにおけるヘルスプロモーション等の研究
 - 在宅医療を含む医療施設の機能評価の研究
 - 情報化社会の保健医療に及ぼす影響の研究
 - 患者の受診行動とヘルスコミュニケーションの研究
 - 保健医療における危機管理の研究
 - 災害時における危機管理と被災者および医療者の精神的ケアの研究
 - 国際協力に関する研究、など
5. 保健医療資源の開発
 - 医学教育を含むヘルスマンパワーの研究
 - イノベーションに関する諸問題の研究
 - 新薬開発のグローバル化と薬事政策に関する国際比較研究
 - 医療と知的財産権に関する研究、など
6. 医療哲学
 - 地球環境に関連したヘルスリサーチ
 - 尊厳死・死生観に関する諸問題の研究
 - 医療倫理・生命倫理に関する研究、など

以上

応募書作成に関するお願い

<応募書記入の際のお願い>

- 応募書は、ファイザーヘルスリサーチ振興財団のウェブサイト(<http://www.health-research.or.jp/>)に掲載した2015年度の応募用紙(Word 書式)をご使用ください。過去に当ウェブサイトアクセスしたことのある場合は、改めてアクセスし直し、本年度の応募用紙となっていることを必ずご確認ください。(2015年4月1日より財団ウェブサイトアドレスおよびメールアドレスが新しくなりました。)
- ご記入は、パソコンでお願いします。文字は、10ポイントまたは10.5ポイントを用いてください。英数字は半角で入力して下さい。応募書の記載欄にある制限文字数は厳守願います(※制限文字数以上は入力できないようになっております)。
- ご記入の際には、文字数制限を厳守下さい。元の書式を崩したり、頁数が超過しないようにしてください。パソコンの不具合などで、元の書式が崩れる場合は、事務局までご連絡ください。
- 書類に未記入の欄がある場合は、応募書類不備として選考から漏れる場合がございますので、予めご了承ください。
- ページ数が超過していたり、助成金内訳の計算違い、押印漏れなどがありますと手続きの遅れとなりますので、必ず見直ししてからご応募いただけますよう、ご理解とご協力をお願い致します。

<応募書送付の際のお願い>

- 印刷はすべて片面印刷でお願いします。印字は、モノクロで結構です。
- 応募書を含めすべての書類は事務処理の都合上、ホチキス止めはせず、折り曲げないでお送りください。

<「今回の応募研究の実施計画」欄について>

- 応募研究の研究期間中の実施計画およびその期間で実施する予定の内容、具体的な達成目標(数値または状況など)について、当該記入欄の範囲内で記述して下さい。さらに細かい内容は、「17. 研究内容の詳細記述」にてご記入下さい。

<「助成金額の内訳」欄について>

- 費目名は、下記を基本にして下さい。

<u>費目名</u>	<u>内容例</u>
旅費交通費	交通費、宿泊費など
通信運搬費	送料、切手、宅急便代など
謝金	調査協力費、データ入力アルバイト料、講演料、翻訳料、通訳料など
機材・備品費	情報機器、ソフトウェア、実験器具など
書籍・文献費	図書、資料・文献など
印刷製本費	アンケート用紙作成費、報告書作成費など
会議費	会場代、資料作成コピー代など
消耗品費	プリンタートナー、プリンター用紙、文具など

- 各費目の明細については、単価・数量などの積算根拠を明記して下さい。さらに細かい内容を記載する必要がある場合は、「17. 研究内容の詳細記述」にてご記入下さい。
- 必ず検算して下さい。また、金額のケタ間違えにご留意下さい(ケタ区切り(,)の位置にもご注意ください)。

- 「11. 研究助成金希望金額」には、10で積算した合計額の1万円未満四捨五入の金額を記入して下さい。(下記の記入例の場合は、合計額の1万円未満を四捨五入し、研究助成金希望金額は、96万円となります)
- 合計金額が、助成希望額を上回る場合、また、助成額上限を上回る場合は、超過分は自主財源から拠出されるものとみなします。

《記入例》

費目名	使 途 ・ 内 容	明細(数量、人数、単価、日数など)
旅費交通費	現地調査交通費(東京⇄長崎)3名	¥47,000(往復)×3回×3名=¥423,000
旅費交通費	現地調査宿泊費(長崎)3名	¥10,000/日×2日×3回×3名=¥180,000
謝金	データ入力アルバイト 1名	¥1,000/時×6h×10日×6ヶ月×1名=¥360,000
合計		¥963,000

＜研究内容の詳細記述について＞

- 「17. 研究内容の詳細記述」には、今回応募される研究の実施計画・方法などの具体的内容について、主には、「6. 今回の応募研究の実施計画」で記入し切れなかった内容について、2ページ以内で記述して下さい(図表も可)。
- 記述が2ページに満たない場合でも、残りのページは白紙のままご提出下さい(CD-ROMにも、白紙のまま保存して提出して下さい)。
- 今回、応募される研究が、助成期間を超える長期の研究の一部である場合には、全体の研究についての詳細を記述していただく必要はありませんが、全体の研究と今回の応募研究との関係がわかるような記述を加えて下さい。

＜推薦書・同意書について＞

- 共同研究者が4名以上になる場合、事務局までメールにてご連絡ください(別途、所定用紙をお送りします)。
- 推薦書および共同研究者全員分の同意書(原本)も応募書類と同時にお送りいただく必要があります。特に、国際共同研究では、海外施設所属の共同研究者から同意書を取得する必要がありますので、予め余裕をもってお手続き下さいますようお願い致します。

＜応募の際の送付物一覧＞

- ご応募いただく際には、下記をお送りください。その他、関連資料などのご送付は不要です(選考上必要な場合は、事務局よりご連絡します)。
- ご提出いただいた応募書およびその他書類は、採否に関わらずお返し致しませんので、予めご了承下さい。

送付書類	提出方法
応募書、推薦書、共同研究同意書(全員分)	印刷し、署名・捺印のうえ提出して下さい。
Wordファイルデータ (「応募書」、「推薦書」、「共同研究者同意書」、のすべてのWordファイルデータ)	すべてのWordデータをCDに保存の上、ご提出下さい。CDには、氏名をご記入下さい。
研究論文(過去5年以内の論文で、5編以内)	原本またはコピーをお送り下さい。

<応募書類送付締切日>

応募書類一式は、**2015年6月30日(火)【当日消印有効】**で、事務局あて郵送下さい。

<チェックリスト>

応募書類一式をお送りいただく前に、下記のチェックリストで今一度ご確認の上、ご応募下さい。

	提出書類	チェック内容	確認欄
1	応募書	応募書の記入欄に記述の抜け漏れはありませんか。また、応募書1ページ目に、署名、捺印はありますか。助成金の内訳の計算は合っていますか。	
2	推薦書	推薦者の署名、捺印はありますか。	
3	共同研究者同意書(全員分)	共同研究者全員分の同意書にそれぞれの署名、捺印はありますか。	
4	Wordファイルデータ	データを保存したCDに氏名を明記していただきましたか。 (*Wordファイルデータは、PDFに変換しないで送り下さい)	
5	研究論文	提出する研究論文はすべて(5編以内)揃っていますか。	

<応募書類送付先・問い合わせ先>

〒151-8589

東京都渋谷区代々木3-22-7 新宿文化クイントビル

公益財団法人ファイザーヘルスリサーチ振興財団

E-mail アドレス: hr.zaidan@health-research.or.jp

URL : <http://www.health-research.or.jp>

電話 03-5309-6712 / FAX 03-5309-9882

以上